

令和3年度 森林環境譲与税に関する決算状況

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)+(C)	(A) 当該年度の 森林環境 譲与税	(B) 過年度分の 基金取崩額			
森林保護対策	地域産業資源創出事業	3,644	144		3,500	<p>私有林所有者（農家）の方から、畑周辺のカラマツが朝日を遮りメロン栽培の支障が出ているので、カラマツを皆伐したいとの要望がある。</p> <p>伐採後の再造林の際、高木性樹種を植栽すると同じことの繰り返しになるため、適切な低木性の樹種を見極めるため、低木性樹種（ノリウツギ等）の植栽を行った。</p> <p>面積0.67 haに ノリウツギ 500本 ウルシノキ 400本 キハダ 100本 を植栽した。</p> <p>また、新たな種類（2種）の植生保護資材を1,000組設置した。植生保護資材を設置し、強風・積雪等に対する耐性のモニタリングを実施する。</p>	<p>税活用により、低木性樹種であるノリウツギを500本、ウルシノキを400本植栽し、順応性試験をスタートさせた。また、林木育種センター北海道育種場から提供を受けたキハダ100本を植栽した。</p> <p>私有林における再造林の際、不成績造林地の発生を防ぐため、食害対策技術の確立に向けて、新たな植生保護資材を1,000組設置し、既設の資材と併せてモニタリングを継続する。</p> <p>【詳細】</p>
意向調査の準備作業	森林経営管理事業	47	47	0	0	<p>私有林所有者に対して実施するアンケート調査(対象者200名程度)の準備費用。</p> <p>森林経営計画を策定している企業有林を除いた私有林所有者へのアンケート調査内容を定めた。</p>	<p>私有林所有者の多くを占める農家から、メロン畑に隣接するカラマツ林が日照を遮ることから皆伐を望む声が増えており、伐採跡地については、植栽したくないとの声もあがっている。そこで、営農に影響を与えない低木性樹種の育林について検討することとした。</p>
林道・林専道の整備等	林道管理事業	21	21	0	0	<p>林道旭線が降雨により被災したことから、その対応のための費用。</p> <p>災害延長40m。</p>	<p>私有林における広葉樹植栽の拡大が見込まれることから、豪雪地である当地に適した鳥獣被害対策の確立を図るため、引き続きモニタリングを実施する。</p>
基金積立 (森林整備等)	夕張市森林環境譲与税基金積立	4,922	4,922	0	0	<p>今後増大すると想定される私有林における再造林に際しての課題等に対応するために備えた積立。</p> <p>基金残高：8,441千円</p>	<p>積み立てた基金は、私有林所有者に対して実施するアンケート調査(対象者200名程度)の結果に基づき、新たな施策の検討を行う。</p>